

# 改革プラン戦略マップ

公立病院改革ガイドライン

総務省 平成19年12月

小野市民病院経営改革プラン

平成20年11月策定  
平成22年6月改定

策定の基本的方針として

- 1) 収入増が期待できる項目を重点に取り組む
- 2) 今ある医療資源をフルに活用する
- 3) 実現性があり、継続可能な項目とする
- 4) 病院職員の疲弊を招かない項目とする

を掲げて、改善項目を掲げる。

実施期間 /年  
 ・経営効率化 21-23  
 ・再編・ネットワーク化 21-25  
 ・経営形態の見直し 21-25

経営効率化

主要指標の目標

- ①経常収支比率 100%以上
- ②職員給与比率 52%以下
- ③病床利用率 90%以上

経営の効率化

具体的項目

1. 経費削減・抑制対策については、
  - ①診療材料の削減…対前年5%削減
  - ②診療材料の削減…ジェネリック医薬品の導入
  - ③診療材料の削減…放射線フィルムレス化
  - ④経費(委託料)の削減…対前年3%削減
  - ⑤経費の削減…病衣の廃止による人件費の削減
2. 収入増加・確保対策については、
  - ①料金収入…病診連携による入院患者年間通し2人増
  - ②料金収入…病診連携による外来患者3人/1日増
  - ③料金収入…支払督促による未収金対策
  - ④料金収入…DPCのコーディングの適正化
  - ⑤料金収入…薬事管理指導料の増
  - ⑥料金収入…栄養管理指導料の増
  - ⑦料金収入…診療報酬査定減対策
  - ⑧料金収入…適正な入院指導
  - ⑨料金収入…外来処方期間の適正化
  - ⑩料金収入…リハビリオーダーの増
  - ⑪料金収入…リハビリ計画の増
  - ⑫料金収入…放射線フィルムレス化
  - ⑬その他収入…ドックの充実
  - ⑭その他収入…個室料金の見直し

一般会計繰入金

基本的考え

今後も基準通りの繰入  
 但し、一般会計の財務状況によつては検討見直しを行う

再編・ネットワーク化

小野・三木の統合を図る

小野市民病院(小児科・眼科)三木市民病院(循環器科)西脇病院(脳神経外科)のネットワーク化

改善状況により新たな方法を検討

経営形態の見直し

現行の地方公営企業法一部適用(財務)を継承

改善状況により新たな方法を検討

毎年6月に小野市民病院改革委員会で  
 実施状況の検証と改善事項を検討

健全運営による医療体制の確立を目指す